

し ぽん 玉

No.428

2020 ねん

10がつごう

にしのみやしりつとしょうかん



えんぴつ、消しゴム、ノートにボールペン…。みんながうちや学校で、毎日使っている
みちかな文房具の本を紹介するよ。

『知ってハナダカ！ 文房具のひみつ箱』

スタジオ248／編
六耀社 [58]



ものさしと定規のちがいってな
に？日本で初めてえんぴつを使っ
た有名人はだれ？みんなは文房具
のこと、どれだけ知っているかな？

『いっぽんの鉛筆のむこうに』

谷川俊太郎／文 坂井信彦ほか／写真
堀内誠一／絵 福音館書店 [E2イツ]



鉛筆はどうやってできているの？いっぽんの鉛筆を作るた
めに、世界中のいろんな人たちが力を合わせているんだね。

『文房具のやすみじかん』

土橋正／文 小池壮太／絵
福音館書店 [E3コイ]



まもるくんが外で遊んでいる間、文房具たちはノートに
こっそり落書きをしていた。まもるくんが帰ってくる前に
いそいで消さなくちゃ。色えんぴつやボールペンはどうし
たら消えるのかな？

『ふでばこから空』

北川チハル／作 よしざわけいこ／絵
文研出版 [931キタ]



となりのせきのしろうくんは、ふでばこを
もっているのにつかわない。しろうくんの
ふでばこは、木であんだ。ほそなかいいん
なほこ。それをだいに持っている。ゆい
は、そのはこがきになって…。

『けしゴムのゴムタとゴムゾー』

かとうまふみ／作 BL出版 [E3カド]

けしゴムのゴムタはすすのかたいすき。あたまがよごれてもきにしない。あ
たらしくやってきたゴムゾーは、あたまがよごれるのかいやだから、えんぴつ
にたのまれても、ぜったいけさない。





えほん

「おれ、きょうりゅうしんかんせん」

片平直樹／作 山口マオ／絵 交通新聞社

E 3 ヤマ

おれはティラノサウルス。いつものように、よるのさんぽをしていたら、シクシク
ないているしんかんせんとでくわした。な
やみをきいていると、「ねがいをかなえてや
ろう」っておつきさまがいった。

「ねがい？なにそれ？」
きがつくと、しんかんせん
とがったいしていて…。



あたらしい

えほん

「こんにちは！わたしのえ」

はたこうしろう／作 ほるぷ出版

E 3 ハタ

まっしろいかみのまんなかに、おも
いきってふでをぐっちょん！とおい
て、ずういいいいいいと線^{せん}をひいたら、
あっというまにうまれてきたのはギザ
ギザのいきもの。ふでをぐるぐる、
てんてん、ぽたぽたと
うご動かすと、いろがどん
どんうまれてきたよ。



えほん

「せんそうがやってきた日」

ニコラ・デイビス／作 レベッカ・コップ／絵
長友恵子／訳 鈴木出版 E 4 コツ

せんそうがやってきた日^ひ。おかあ
さんはわたしの鼻^{はな}にキスして学校^{がっこう}
までおくってくれた。ランチのあ
と、けむりと火^ひと大きな音^{おと}にのみこ
まれ、家^{いえ}があった場所^{ばしょ}はくろいあな
になった。わたしはせんそうをおい
はらいたくて、まだ
せんそうがきていない
ところへいこうとした。



えほん

「4さいのこどもって、なにがすき？」

ウィリアム・コール／さく トミー・ウンゲラー／え
こみやゆう／やく 好学社 E 4 ウン

4さいのこどもって、なにがすき？
かけっこ、ジュース、シーソーあそび、
えほんもおもちゃもすき！ポビーと
アンとエディとネルはぜんいん4さ
い。いまどんなことがすきなのか、お
しえにきてくれた。
その4にんがいち
ばんすきなことは？



本のコーナー

よみもの

「歌がにがてな人魚」

ルイス・スロボドキン／作 小宮由／訳

瑞雲舎 932スロ

人魚の国の学校、ブルー・ロック・スクール。せいとたちは、およぎやダンス、かていかなどを学んでいる。中でもたいせつなのは歌のじゅぎょう。赤いかみの人魚シンシアは歌がすきなのに、みんなといっしょにはうたえない。ある日、じけんがおこり…。



よみもの

「タミーと魔法のことば」

野田道子／作 クボ桂汰／絵 小峰書店

931ノタ

タミーは9才になったお祝いに、古道具屋で見かけたまっ赤なトランクを買ってもらった。このトランクは人気マジシャンのジャック・谷川が使っていたものらしい。ある日、トランクに入ったままになっていた黄色いエンピツがタミーに話しかけてきた。



よみもの

「クローバーと魔法動物 1 運のわるい女の子」

ケイリー・ジョージ／作 久保陽子／訳

スカイエマ／絵 童心社 932シヨ

運のわるい女の子、クローバー。何をやってもツイてない。運気をあげようといろいろためしてみたのに、あたらしいペットのカナリアまでにげる始末。

だけど、動物を里親にひきあわせるボランティアを発見！いつだって望みをすてないクローバーは…。



よみもの

「氷室のなぞと秘密基地」

中谷詩子／作 よこやまようへい／絵 国土社

931ナカ

春馬が夏休みの自由研究に悩んでいるとき、近くの宝山区に、むかし天然氷を保存した氷室跡が残っていると聞く。友達の哲平と宝山区に行くが、二人は信じられない光景を目にする。興味を持った二人は氷室を復元しようと穴掘りから始めるが、それが大変なことになる。





しらべもの

「手話でつながる世界のあいさつ」

全国手話通訳問題研究会／作 見杉宗則／絵
クリエイツかもがわ 37

世界にはたくさんのことばがあって、それぞれちがっているように、手話もその国々によってすこしずつひょうげんのしかたがちがっているんだ。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」…。さいしょのあいさつをして、世界のおともだちとつながろう。



しらべもの

「7年目のランドセル」

ランドセルは海を越えて、アフガニスタンで始まる新学期」
内堀タケシ／写真・文 国土社 22

まだ日常の中に戦争が残るアフガニスタンの子供たちに、日本で6年間の役目を終えたランドセルが贈られた。タルワサちゃん
が笑顔で受け取ったのはピンクのランドセル。「ほら、勉強するとき、ヒザの前に置けば、つくえのかわりにもなるんだよ」



しらべもの

「バウムクーヘンとヒロシマ ドイツ人捕虜ユーハイムの物語」

巢山ひろみ／著 銀杏早苗／絵 くもん出版 39

颯太はバウムクーヘン作り体験にひかれて、ピースキャンプに参加する。そこで日本にバウムクーヘンを伝えたユーハイムが、戦争のために日本に連れてこられたこと、彼のバウムクーヘンが売られた物産陳列館が、後に原爆ドームとよばれるようになったことを知る。



しらべもの

「ハクトウワシ」

前川貴行／写真・文 新日本出版社
488

白くかがやく頭と、とがった黄色いくちばし。アメリカ先住民族にとって神の使いだったハクトウワシは、人間によって一時は絶滅の危機にあった。流水が押しよせる北大西洋の島のうえで、ハクトウワシのつがいは交互に卵を温め、子育てをする。

